

『企業家研究』では、企業家に関するオリジナルな日本語の研究論文を広く募集いたします。ふるってご投稿いただくようお願いいたします。

なお執筆要綱に従わない原稿は、審査されることなく投稿者に返却されますので、投稿に当たって熟読してください。

『企業家研究』執筆要綱

(1) 制限字数と印刷方法

1. A4 縦置き、ワープロを用い、横書きとし、1 枚に 1 行 40 字×30 行で、十分な余白を取って印刷すること。

2. 投稿規定の字数は、本文・注については、1 行字数 (40 字) ×行数によって算出する。図表については、『企業家研究』の誌面に無理なく配置された状態を想定し、小さな図表 (『企業家研究』の誌面半頁以下) は 770 字、大きな図表 (『企業家研究』の誌面 1 頁相当) は 1,540 字と換算する。

3. 注は通し番号として、論文末にまとめ (endnotes)、投稿原稿段階での文字の大きさは本文と同じとする。

4. 図表は本文の中に組み込まず、別紙各 1 枚に 1 図あるいは 1 表を印刷する。

5. 図表の分量は原稿の総字数の 3 割以内とする (総字数には図表自体の換算文字数を含む)。

(2) 文章一般

1. 投稿原稿には、「拙稿」「拙著」「別稿」など投稿者名を特定させるような表現を使用しない。また投稿時には、付記あるいは謝辞を記載しない。

2. 『企業家研究』にふさわしくないと判断さ

れる原稿は、編集委員会の判断で審査を行わずに投稿者に返却される。

3. 注は文献引用には用いないこと。文献等の引用の方法については、下記の文献引用方法に従う。

4. 注は文の終わりにのみ入れること。
例：……このような結果となった¹²。それについて経団連は、……

5. 外国人名・外国会社名・外国地名などは、漢字以外は初出時にカタカナにして後ろに () 内に原綴りを記し、2 回目以降はカタカナを用いる。ただし地名で明白なものは省略して差し支えない。

例 1：テイラー (F. W. Taylor) は科学的管理法を提唱した。テイラーはアメリカ人である。

例 2：三井物産はロンドンとニューヨークに支店を設置した。

6. 掲載が決定した時点で、原稿を入力したデータファイルをメール添付で提出するが、付記や謝辞はこの段階で挿入する。データ送付時にそれらをどこに挿入したのか申告すること。

(3) ヘディング

1. ヘディングは I, 1, (1) の 3 階層とする。

2. はじめに、おわりにもヘディングをつける
(「I はじめに」とする)。

(4) 引用

1. 短い引用は「」で区切り、改行せずに文の中に入れること。引用の直後に出典を（ ）に入れて示すこと。

例：

……この件につき、○×は「この事態は極めて遺憾であるので、早急に是正する必要がある」との意見を表明した(中山, 2015, 28-29 頁)。

2. 3 行以上にわたる引用は、本文から 1 行あけて、本文より 1 字インデントすること。引用文の前後に「」は不要。

例：

……この点につき、○×は以下のように述べている(中山, 2015, 30 頁)。

この段階で重要なのは、株価の下落に対して、必要な措置を毅然とした態度で発表するということがあった。しかし政府の対応は混乱し、措置が発表されたのは、3 日後の 10 月×日になってしまった。

このように当時の政策当局は、株価の下落に狼狽していたことがうかがえる。

(5) 図 表

1. 図 1, 表 1 とし、第 1 図, 第 1 表とはしない。

2. 図と表には、かならずタイトルをつけ、さらに、(注)、(出所)の順番で注と出典を明記する。

例：

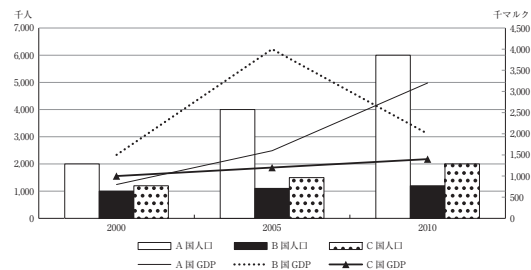
表 1 △△市における有権者数の推移
(単位：千人)

年	50 歳以上	50 歳未満
2008	1,634	2,555
2009	1,856	1,967
2010	1,942	1,778

(注) 1. 表の人数には男女双方を含む。
2. 2010 年の 50 歳未満には他県への転出者 3 名が含まれていない。

(出所)「平成 22 年選挙表」『○○家文書』(△△市資料館所蔵資料, RZ-1129)。

図 1 A, B, C 国の GDP と人口の推移



(注) 人口は左目盛り, GDP は右目盛り。
(出所)「最近の人口と GDP」『○○家文書』(××国立資料館所蔵資料, RZ190)。

3. 図と表は文中に必ず引用し、本文中に挿入して欲しい場所を 1 行空けて明記する。ただし段落の切れ目に挿入すること。

例：

……A 国の一人あたりの GDP は 1990 年代には停滞していたが、2000 年代に入ると顕著に増加するようになった(表 1)。

表 1 をこの付近に挿入

それに対して B 国は衰退が著しく、1990 年代と 2000 年代を通じて人口が減少し、一人あたり GDP は A 国に追い越されることとなった。

図についても同様とする。もちろん「図 1 によれば」など引用の方法は自由である。

例：

4. 図表は白黒で区別できるように、パター

ンや点線・マーカーなどを利用すること。カラー印刷やグラデーションが不鮮明な原稿は受け付けない。

5. 本文原稿中に図・表の原稿を挿入せず、別の用紙1枚に1図もしくは1表を印刷し、原稿末尾に添付すること。

(6) 写真・地図・グラフ以外の図

1. 図1などとし、グラフの図と共通の順番とする。

2. 著作権が論文の著者に属しないものは、事前に所持者から許可を得ること。また権利者の明記など許可に条件があれば、それを遵守すること。

3. 掲載が決定した場合は、印刷に付するの適切な媒体で提出すること。

(7) 数 式

1. 式を書き、番号を振る場合は、式のみで1行を取る。式番号は(1)(2)(3)…とする。

× ここで $abc = xyz$ であることは自明である。(1)

○ ここで以下は自明である。

$$abc = xyz \quad (1)$$

2. カッコは $\{[()]\}$ の順番とする。

3. ○ $x_1, x_2, \dots, x_n$ × $x_1, x_2, \dots, x_n$
最後にカンマを入れる。

○ $x_1 + x_2 + \dots + x_n$ × $x_1 + x_2 + \dots + x_n$
最後にプラスを入れる。

○ $y = 0, 1, 2, \dots$ × $y = 0, 1, 2, \dots$
最後にカンマを入れる。

4. 文中の1万を超える数字は、万、億、兆の漢字で補い、3桁区切りのカンマを省略する。ただし、表内や数式内では3桁ごとのコンマを

入れる。

○ 参加者は2500人であった

× 参加者は2,500人であった

○ 売上1500億円を達成した

× 売上1,500億円を達成した

○ それは2万4200年前のことで

× それは24,200年前のことで

(8) 書 評

書評を提出する場合は、末尾に、出版社、出版年月、ページ数、価格を()に入れて付すること。洋書の場合は、出版社の前に出版地を入れ、出版月は省略する。翻訳書の場合は、和文文献として扱い、原著情報が必要なときは、本文中に記す。

例1：(有斐閣, 2020年1月, xii+232頁, 6,500円+税)

例2：(New York: Oxford University Press, 2020, xii+234 pp., \$500)

文献表記方法

原則として、論文末に文献一覧を添付し、「著者－出版年」方式(the author-date/Harvard system)で文献指示をおこなうが、例外がある。

1. 論文末(注の後ろ)に文献一覧を添付する。

① 文献一覧の表記方法については、下記2.を参照すること。

文献一覧の文献の配列については、邦文文献は50音順、欧文文献はアルファベット順に並べ、その他言語(ハングル、中文等)は各言語の慣習的順序に従うものとする。邦文文献、欧文文献、その他言語の文献の順に配列する。

② 本文中の文献指示方法は、下記3.を参照すること。

③ 文献一覧には、日刊の新聞、公刊されていらないいわゆる一次資料、インタビュー、

法令などは含めない。

④ 文献一覧は、論文の字数に含まれる。

2. 文献一覧の表記

* 文献一覧には内訳（単行本、雑誌論文などの区分）を設けない。

① 邦文文献

a. 雑誌論文

例：山崎広明（2012）「豊田ファミリーの所得の形成過程——豊田家事業の経営史序説——」『企業家研究』第9号，49-65頁。

* 巻号のある雑誌は第9巻第4号のように表記する

* 105-56 頁とは表記せず 105-156 頁と記す。pp. 56-58 も同様に pp. 56-8 とはしない。

b. 単行本所収論文

例：宮島英昭・河西卓弥（2010）「企業システムと企業統治」橘川武郎・久保文克編『講座・日本経営史6 グローバル化と日本型企業システムの変容——1985～2008——』ミネルヴァ書房，所収。

c. 単行本

例1：沢井実（2013）『マザーマシンの夢——日本工作機械工業史——』名古屋大学出版会。

例2：小池和男（2005）『仕事の経済学』（第3版）東洋経済新報社。

* 同一著者が同一年に複数の論文・著書を刊行している場合は，（2015a）（2015b）のようにアルファベットで区別する。

② 欧文文献

a. 雑誌論文

例1：Carlos, A. M. and S. Nicholas（1990）

“Agency problems in early chartered companies: the case of the Hudson’s Bay Company”, *Journal of Economic History*, 50, 853-875.

例2：Wilson, J., A. Webster, and R. Vorberg-Rugh（2013）“The co-operative movement in Britain: from crisis to ‘renaissance,’ 1950-2010”, *Enterprise & Society*, 14, 271-302.

* 筆頭著者のみ姓を最初に出し，カンマをつける。第2著書以下は，名・姓の順とする。また名はイニシャルのみとする。論文のタイトルは最初の単語と固有名詞以外は小文字で始め，サブタイトルも小文字で始める。雑誌のタイトルは前置詞などを除き大文字で始める。巻のみ記す。タイトルに引用符がある場合は一重引用符を用いる。

b. 単行本所収論文

例：Hara, T.（2008）“The social shaping of technological paths: antibiotics in Japan”, in T. Hara, N. Kambayashi, and N. Matsushima (eds.) *Industrial innovation in Japan*, London and New York: Routledge.

* 雑誌と異なり，単行本のタイトルは最初と固有名詞以外は小文字とする。収録本の編者はすべて名・姓の順とする。

c. 単行本

例1：Casson, M. (ed.)（1983）*The growth of international business*, London: Allen & Unwin.

例2：Amatori, F. and A. Colli（2011）*Business history: complexities and comparisons*, London and New York: Routledge.

* 単行本のサブタイトルの先頭も小文字

とする。

- ③ その他言語の文献はその言語の慣例による

3. 本文中の文献指示の方法

① 研究文献を指示する場合

本文中に、以下のように挿入する。

例 1：この点について沢井は次のように述べている（沢井，2013，10-12 頁）。

例 2：チャンドラーによれば（Chandler, 1990, pp. 5-7），この点は次のように説明されるという。

例 3：沢井（2013，10-12 頁）は，〇〇の方が早かったというが，……

文献リストには複数の著者名をすべて記すが，引用の場合は，2 名は，（宮島・河西，2010）および（Carlos and Nicholas, 1990）とするものの，3 名以上は，（宮島ほか，2015）および（Carlos et al., 2015）のように筆頭著者のみを記す。

複数の文献を引用する場合は，（沢井，2013；原，2014）および（Carlos, 2015; Chandler, 1999）のようにセミコロンでつなぐ。

② 日刊の新聞記事を指示する場合

本文中に（「件名 “headline”」『夕日新聞』2007 年 11 月 8 日）等と記入する。

同じ新聞が頻出する場合は，最初に引用する場合に，「以後，夕日と略記」，「hereafter, *FT*」などと断り，2 回目以降その略称を用いても良い。

例 1：この間，株式会社の数は著しく増加した（「会社の活況」『夕日新聞』2040 年 12 月 31 日）。

例 2：中国は資本移動を規制した（“Beijing Clamps Down on Forex Deals to Stem

Capital Flight”, *FT*, 10 September 2015）。

*この場合，1 回目の引用で，“Tokyo Olympic Games begin”, *Financial Times* (hereafter, *FT*) 15 August 2040 と断ってある。

③ 一次資料およびインタビューを指示する場合

本文，文献一覧には含めず，論文末尾の注（endnotes）に表記する。所蔵館等は，初出時以外省略してもかまわない。

例 1：「2015 年 4 月人口統計表」『〇〇家文書』（××資料館所蔵，VT345）。

例 2：Janet L. Yellen to Ben S. Bernanke, 29 December 2040, *Papers of Ben Bernanke*, ****Library, New York, MS Letters, No. 8897.

例 3：安倍晋蔵氏（日本株式会社総裁）インタビュー（2040 年 12 月 31 日実施）。

*守秘義務のためにインタビューの氏名などを明かせない場合は，匿名も可。

（2020 年 12 月 16 日）